

# 桜島火山における避難シミュレーション

避難意向調査を踏まえた避難シミュレーションー大量降灰地域の設定



図13 避難意向調査を踏まえた避難シミュレーションー大量降灰地域の設定

最近100年間、我が国において発生していない大規模噴火では、避難の途中において大量の降灰があれば、避難を続けられなくなる可能性がある。事前分析として、火山灰の堆積厚が30cm以上となる地域に住む80万人の住民全員が避難する時間の予測シミュレーションを行い、50時間となる結果を得た。次に避難意向のアンケート調査を行い、その結果と風向を反映したシミュレーションを行ったところ、避難する住民の数と避難時間は大幅に減少することが確かめられた。